

高い上載盛土をもつテールアルメの施工法

「高い上載盛土のあるテールアルメ」はテールアルメを含む盛土全体の規模が大きくなる場合が多いので、その施工にあたっては盛土全体のすべり破壊や基礎地盤の有害な沈下、テールアルメ壁面の前傾などが起こらないよう、テールアルメ自体の施工はもちろんのこと、テールアルメ以外の施工においても、下記の点に留意しながら入念に施工しなければならない。

高い上載盛土のあるテールアルメの施工は一般のテールアルメと同様であるので、その他の施工と排水対策について述べる。

①一般の盛土工事と同様、盛土と地山との境界が弱点となりやすいので、地山との一体性をもたせるために地山の表土を取り除き、良質な基盤を段切りする。

②ストリップ背後の盛土の施工も重要であり、その盛土材料のまき出し、締固めもテールアルメ部と同様の仕様により施工する。

③上載盛土の施工は設計条件に適合した盛土材料を用いて十分に締固める必要があり、そのまき出し、締固めはテールアルメ部と同様、壁面に平行に行う。

④盛土内への浸透水や切土面からの湧水などの排水対策はもちろんであるが、施工中に現れた湧水に対しても別途排水施設を設ける。

⑤上載盛土ののり面に沿って流下する水が、スキン背面に浸透してスキンを押し出したり、泥水がスキン面を流下して表面をよごしたりすることのないように、テールアルメ天端の排水溝を上載盛土の施工に先立って設置するのがよい。

⑥上載盛土の重量によりテールアルメが圧縮沈下を起こすこともあり、それに伴って壁面が多少変位する場合があるので、上載盛土をする前にテールアルメ壁面の計測管理を行って施工の安全を期し、その安定を確認することも非常に重要である。